

抗がん薬連携充実情報の 運用方法

関西電力病院 薬剤部

1. 現状の抗がん薬治療に関する連携の必要性
2. 関西電力病院の連携充実加算に関する情報の運用方法

がん治療における化学療法について

⇒目覚ましい進歩

⇒効果・作用・副作用など多彩

メディカルスタッフが取り扱う抗がん剤の種類や量も急激に増加

がん医療について最新治療・副作用の理解と説明

「殺細胞性抗がん薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬」
⇒副作用がさまざま

抗がん薬の変遷と副作用の違い

注射薬
内服薬

注射薬
内服薬

注射薬

殺細胞性抗がん薬

分子標的抗がん薬

免疫チェックポイント阻害薬

吐き気
下痢
脱毛
口内炎
手足のしびれ
味覚障害
白血球減少（感染症）
心・肝・腎機能障害
など

下痢
手足の皮膚障害
血圧上昇
口内炎
インフュージョン・リアクション
爪の異常
間質性肺炎
心・肝機能障害
など

下痢、皮膚障害、肺障害、肝・胆・膵障害、胃腸障害、腎障害、神経筋障害、内分泌障害（I型DM、甲状腺亢進症）、眼障害、インフュージョン・リアクション
など

チーム医療における薬剤師のあり方

1. 複雑化するがん薬物療法においては、薬剤師の視点を含めた多角的なアプローチが重要
2. 薬剤師の役割は従属的なPharmaceutical Careから積極的なSafety Managementへ変化が求められる
3. 薬物療法全体を見据えて患者の利益を保ち、不利益を少なくすることを目指したアプローチを目指す
4. 薬物療法における医師との協働は、自施設の問題を把握し現在の体制で何ができるか検討することがスタート地点

チーム医療における薬剤師への期待される役割

- ・ 確立された標準治療とガイドラインの理解
- ・ 抗がん剤の臨床薬理やPK/PD 的介入
- ・ 抗がん剤治療レジメン設計への参画と管理
- ・ がん化学療法処方鑑査・処方支援
- ・ 抗がん剤およびその調製管理
- ・ 薬剤管理指導（患者への服薬指導）
- ・ 患者モニタリング
- ・ 緩和ケアへの参画
- ・ 臨床試験への貢献

レジメン審査・一元管理
レジメン事前確認

安全キャビネット内での無菌操作の完結
調製・プライミング 正確性・曝露対策

薬物療法・副作用の説明
早期発見予測（特定されたリスク）
副作用の確認・報告（重要な潜在的リスク）

薬剤師の職能を活かす！

薬物治療

(患者フォローアップ) 療養指導
時間を空けて在宅へ電話連絡・訪問確認

介入

前方支援

薬剤師の必須条件
処方意図の理解
患者の療養問題点の抽出

後方支援

介入



処方監査（相互作用、用法・用量確認など）
疑義は最善の投薬提案を考慮
体重減少、休薬期間などもよく監査して
薬物治療に貢献する投与前の役割



処方

疑義

患者情報



薬局では、地域市民講座・体験教室・**歯科受診勧奨**など実施



薬局での説明・指導

在宅での確認は電話連絡で

電話での説明・指導・確認

質問

内服抗がん薬の投薬管理
支持療法の投薬管理
副作用モニターリング
療養指導の投与後の役割



これからの在宅医療、地域包括ケアの中で、貢献・活躍することを期待して設立。



新専門医制度による専門研修（後期研修）について 救急部門が基幹となりました！



外来受診の方へ

- ▶ 外来案内（初診）
- ▶ 外来案内（再診）
- ▶ 診療科紹介
- ▶ 部門紹介
- ▶ 病名別診療科案内
- ▶ セカンドオピニオン外来
- ▶ 生命保険等の診断書

入院・お見舞いの方へ

- ▶ 入院の当日
- ▶ 入院される時の持ち物
- ▶ ご面会
- ▶ 相談窓口について
- ▶ 有料病室
- ▶ その他の詳細事項

医療関係者の方へ

- ▶ 地域医療連携室・医療福祉相談室
- ▶ 診療科紹介
- ▶ 部門紹介
- ▶ 治験事務局
- ▶ 薬局連携充実情報紹介
抗がん薬レジメン

採用情報（求人）

- ▶ 医師・研修医
- ▶ 専門研修・新専門医制度
- ▶ 看護師
- ▶ コメディカル
- ▶ 医療ソーシャルワーカー
- ▶ 医療サポート職員
（看護助手、医療事務職員）

医療関係者さまへ

外来化学療法室

部門紹介

外来化学療法室

抗がん薬の薬局連携充実地域研修会

新規

抗がん薬レジメン (内服薬、内服薬+注射薬、注射薬)

内服薬、内服薬+注射薬、注射薬

脳腫瘍

頭頸部癌

甲状腺癌

肺癌

乳癌

食道癌

胃癌

大腸癌

消化管間質腫瘍

各癌腫によりレジメンが違う

医療関係者さまへ

- 地域医療連携室
- 診療科紹介
- 部門紹介
 - 看護部
 - 薬剤部
 - 放射線部
 - 臨床検査部
 - 病理部
 - 疾患栄養治療センター
 - 臨床工学部
 - 外来化学療法室
- 治験事務局
- 倫理委員会

診療時間のご案内

お問い合わせ先

06-6458-5821

●外来受付時間(診療日程)

初診	平日	8:30~11:30
	土	8:30~11:00
再診	平日	8:00~
	土	8:00~

*再診の患者さまは予約時間までに受付して下さい。

*診察予約時間の変更は平日15:

●外来化学療法室患者の薬局連携充実情報（抗がん薬レジメン）

外来化学療法室での在宅患者が投与している抗がん薬の治療内容を、注射用抗がん薬、内服抗がん薬および内服抗がん薬＋注射用抗がん薬について、薬局薬剤師が調剤する際に必要な治療内容を共有するためのレジメン内容

新 抗がん薬レジメン
（内服薬、内服薬＋注射薬、注射薬）

新 抗がん薬の薬局連携充実地域研修会

新 当院の抗がん薬の薬局連携充実に向けた取り組みの詳細

患者にあわせたレジメン（治療内容）を確認することが出来ます。

患者に同意の下、主治医の指示で下記の内容を連携しています。

- 注射用抗がん薬のレジメンは、お薬手帳に貼っていますので、ご確認ください。
- 注射用抗がん薬、内服抗がん薬以外の、支持療法薬の服薬指導とフォローアップを期待しています。
- 院外処方せんでの内服抗がん薬がある場合は、日々投与計画書をFAXにて情報共有しています。
- 抗がん薬治療内容を確認し、院外処方せんの用量などを確認するとともに、内服薬の副作用だけでなく、注射薬での遅延性の副作用なども考慮して、患者の状態を踏まえた必要な指導およびフォローアップを期待しています（後もページで系統別主な副作用記載）。
- 必要な情報は、どのような形式のトレーシングレポートでも結構です。薬剤部へFAXにて情報共有をお待ちしています。
- 薬局からの情報提供は、緊急性のある情報は主治医に報告が必要なものは院内電話連絡で対応し、緊急性の少ない情報も含めて、薬剤師による電子カルテへの記載を実施しています。
- 当院は、外来化学療法加算1のAを算定しており、患者の連携充実加算を算定しています。

医療関係者さまへ



薬剤部

部門紹介

患者さまへ

保険調剤薬局からの疑義照会による投与計画書の共有化

現在、厚生労働省の報告では、副作用報告の中で死亡転帰での医薬品に内服抗がん剤が上位を占めている。内服抗がん剤は、休薬期間が必要な薬品もあり、患者さまのコンプライアンスや医師のさ加減により予期しない副作用が起こる場合も多い。保険調剤薬局では、内服抗がん剤の処方に対して「告知されている?」「何のがん?」「服薬・休薬期間は?」「この用量で大丈夫?」「副作用の対処法は?」などの疑問が多く、適切な服薬指導を患者さまへ提供するには、まず薬局が情報を把握しておく必要がある。現在の薬局で得られる情報は、『処方せん』と『患者さまとの会話』から得られる情報という限られたものであり、患者さまに「正しい情報」を伴った「薬」をお渡しすることが難しい。そこで、関西電力病院では、休薬が必要な内服抗がん剤において、化学療法委員会にて承認された投与計画書(以下、レジメン)のみ使用でき、抗がん剤の投与量のみを医師が調節できるシステム(投与法不可)を作成した。レジメンの内容は、患者さま情報(ID・氏名・身長・体重・体表面積)とともにレジメン名、薬剤名、用法用量、投与期間、服用状況の把握、告知の確認などを追加した。このレジメンを薬局連携において共有化し、保険調剤薬局での服薬指導の充実による安全性を高めるためのツールとして『処方せん疑義照会』システムにて完結させた。

院外処方せん中の内服抗がん剤の『用量・用法・投与日数』記載の下にあるコメントにおいて『調剤薬局様へ 投与計画書有り 疑義照会して下さい』とある場合は、処方せん疑義照会連絡FAX先(06-7501-1404)に連絡下さい。

- 薬局連携による内服抗がん剤レジメンによる双方向の情報共有化(9年経過して最新の情報)
 - 2013年5月以降の新病院移転後の新レジメン投与計画書の見方
- 関西電力病院の曝露対策の取組み(がん患者さま・医療スタッフへの対策から廃棄まで)
- 抗がん剤における曝露についての説明を作成し、入院・外来患者さまに対する説明書

外来化学療法室患者の薬局連携充実情報 レジメン内容の掲示(抗がん薬レジメン)

外来化学療法室での在宅患者が投与している抗がん薬の治療内容を、注射用抗がん薬、内服抗がん薬および内服抗がん薬+注射用抗がん薬について、薬局薬剤師が調剤する際に必要な治療内容を共有するためのレジメン内容

抗がん薬レジメン
(内服薬、内服薬+注射、注射)

抗がん薬の薬局連携充実地域研修会

抗がん薬の薬局充実連携情報の運用方法

患者にあわせたレジメン(治療内容)を確認することが出来ます。患者に同意の下、主治医の指示で下記の内容を連携しています。

- 注射用抗がん薬のレジメンは、お薬手帳に貼っていますので、ご確認ください。
- 注射用抗がん薬、内服抗がん薬以外の、支持療法薬の服薬指導とフォローアップを期待しています。
- 院外処方せんでの内服抗がん薬がある場合は、日々投与計画書をFAXにて情報共有しています。
- 抗がん薬治療内容を確認し、院外処方せんの用量などを確認するとともに、内服薬の副作用だけでなく、注射薬での遅延性の副作用なども考慮して、患者の状態を踏まえた必要な指導およびフォローアップを期待しています(後もページで系統別主な副作用記載)。
- 必要な情報は、どのような形式のトレーシングレポートでも結構です。薬剤部へFAXにて情報共有をお待ちしています。
- 薬局からの情報提供は、緊急性のある情報は主治医に報告が必要なものは院内電話連絡で対応し、緊急性の少ない情報も含めて、薬剤師による電子カルテへの記載を実施しています。
- 当院は、外来化学療法加算1のAを算定しており、患者の連携充実加算を算定しています。

薬剤部門 『医療従事者さまへ』からでも薬局連携充実情報としてレジメン、研修会のお知らせ、運用方法などが確認できます。

●外来化学療法室患者の薬局連携充実情報（抗がん薬レジメン）

外来化学療法室での在宅患者が投与している抗がん薬の治療内容を、注射用抗がん薬、内服抗がん薬および内服抗がん薬＋注射用抗がん薬について、薬局薬剤師が調剤する際に必要な治療内容を共有するためのレジメン内容

新

抗がん薬レジメン

（内服薬、内服薬＋注射薬、注射薬）

新

抗がん薬の薬局連携充実地域研修会

新

当院の抗がん薬の薬局連携充実に向けた取り組みの詳細

患者にあわせたレジメン（治療内容）を確認することが出来ます。

患者に同意の下、主治医の指示で下記の内容を連携しています。

- 注射用抗がん薬のレジメンは、お薬手帳に貼っていますので、ご確認ください。
- 注射用抗がん薬、内服抗がん薬以外の、支持療法薬の服薬指導とフォローアップを期待しています。
- 院外処方せんでの内服抗がん薬がある場合は、日々投与計画書をFAXにて情報共有しています。
- 抗がん薬治療内容を確認し、院外処方せんの用量などを確認するとともに、内服薬の副作用だけでなく、注射薬での遅延性の副作用なども考慮して、患者の状態を踏まえた必要な指導およびフォローアップを期待しています（後もページで系統別主な副作用記載）。
- 必要な情報は、どのような形式のトレーシングレポートでも結構です。薬剤部へFAXにて情報共有をお待ちしています。
- 薬局からの情報提供は、緊急性のある情報は主治医に報告が必要なものは院内電話連絡で対応し、緊急性の少ない情報も含めて、薬剤師による電子カルテへの記載を実施しています。
- 当院は、外来化学療法加算1のAを算定しており、患者の連携充実加算を算定しています。

大腸がんのレジメン

大腸癌				
レジメン名	使用薬剤 注射薬	内服薬	制吐薬	インターバル日数
トリフルリジン・チピラシル		トリフルリジン・チピラシル配合錠 (5日間連続経口投与したのち2日間休薬。これを2回繰り返す。)		28日
カペシタビン		カペシタビン(14日間内服)		21日
カペシタビン+RT		カペシタビン(5日間内服・2日間休薬)、放射線療法併用		35日
テガフル・ウラシル		テガフル・ウラシル配合カプセル(顆粒)		連日
レゴラフェニブ		レゴラフェニブ(21日間内服)		28日
テガフル・ウラシル/ホリナート		テガフル・ウラシル配合カプセル/ホリナート錠(28日間内服)		35日
S1(4週投薬2週休薬)		エスワン配合錠(28日間内服)		42日
S1(2週投薬1週休薬)		エスワン配合錠(14日間内服)		21日
Bev/カペシタビン	ベバシズマブ	カペシタビン(14日間内服)		21日
IRIS	イリノテカン	エスワン配合錠(21日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	35日
IRIS/Bev	イリノテカン、ベバシズマブ	エスワン配合錠(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	28日
SOX	オキサリプラチン	エスワン配合錠(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日
SOX/Bev	オキサリプラチン、ベバシズマブ	エスワン配合錠(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日
S1/Bev	ベバシズマブ	エスワン配合錠(14日間内服)		21日
Modified XELIRI	イリノテカン	カペシタビン(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日
Modified XELIRI / Bev	イリノテカン、ベバシズマブ	カペシタビン(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日
CAPOX	オキサリプラチン	カペシタビン(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日
CAPOX/Bev	オキサリプラチン、ベバシズマブ	カペシタビン(14日間内服)	デキサメタゾン(注射薬投与日~3日間)	21日

外来で服用する内服抗がん剤や制吐薬についてレジメンの中に記載があり、投与日数、インターバル日数などもあるので、参考にして患者説明をお願い致します。

※院外処方せんでの内服抗がん剤がある場合は、日々投与計画書をFAXにて情報共有していますので、薬剤部までFAXにて問い合わせをお願い致します。

抗がん薬治療内容を確認し、院外処方せんの用量などを確認するとともに、内服薬の副作用だけでなく、注射薬での遅延性の副作用なども考慮して、患者の状態を踏まえた必要な指導およびフォローアップを期待している。

必要な情報は、どのような形式のトレーシングレポートでも結構です。薬剤部へFAXにて情報共有を双方向で行うことを実施しています。

薬局からの情報提供は、緊急性のある情報は主治医に報告が必要なものは院内電話連絡で対応し、緊急性の少ない情報も含めて、薬剤師による電子カルテへの記載を実施しています。

外来化学療法室での薬剤師の説明と添付資料などの紹介と運用

この用紙をお読みいただき、処方せんと一緒に
保険調剤薬局の窓口へご提出下さい

院外の保険調剤薬局でお薬をもらえる患者さまへ

当院では、患者さまに安心してお薬を服用していただくために、内服抗がん薬を含む院外処方せんと保険調剤薬局に提出されたときは、薬局から当院薬剤部へ内容の問い合わせ(疑義照会)をしていただくようお願いしております(薬業連携)。

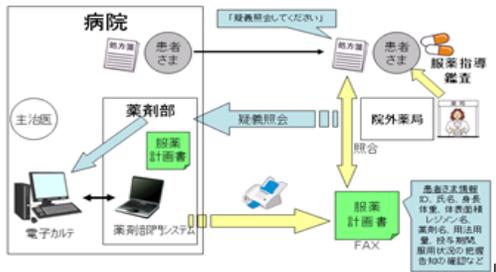
保険調剤薬局と当院薬剤部とのFAXでのやりとりになりますので、**通常のお薬に比べて、お薬をもらえるまでに少しお時間がかかります**が、患者さまの**安全、確実な治療のため**、ご協力・ご理解を頂きますよう、お願い致します。

◆薬業連携とは◆

内服抗がん薬治療を安全に行うためには、保険調剤薬局で処方せんと再確認することやお薬を直接お渡しする保険調剤薬局が薬剤を内服する目的、量や飲み方、副作用とその対策などの説明を患者さまおよびご家族に対して十分に行う必要があります。そのためには、保険調剤薬局は患者さまの的確な情報を把握しなければなりません。

そこで、当院では、医師がお薬を処方した情報に基づき薬剤師で服薬計画書を作成し、保険調剤薬局と情報の共有化を行い、保険調剤薬局での服薬指導を充実させることにより、患者さまに安心して服用していただけるよう連携を行っています。

疑義照会を利用した病院と調剤薬局の連携



◆保険調剤薬局さまへ◆
当院では上記のような疑義照会を利用した薬業連携を行っております。患者さまから処方せんを受け取られましたら、**当院まで疑義照会のFAXを**お願いいたします。
(詳しくは関西電力病院ホームページをご参照ください。)

http://kanden-hsp.jp/medical/central_medical/pharmacy.html

関西電力病院 薬剤部 (FAX:06-7501-1404)

ゲムシタビン・カルボプラチン療法



この冊子は、どのような治療が行われているのかを、患者さまに正しく理解していただく目的で、作成しています。

また、患者さまに、十分な認識・理解を持った上で治療を受けていただくことで、患者さまの視点に立った、安心で質の高い医療を提供する体制の構築を目指しています。



関西電力病院

抗がん剤投与患者さん、ご家族(介護者)の安全管理について



抗がん剤は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。便や尿などに直接触れても健康に害を及ぼすようなことはまずありませんが、できる範囲で結構ですので以下の対策をお取りください。

対策を取る期間について

- 抗がん剤投与後2日間、対策をお取りください。3日目以降は特別な対策は必要ありません。
- 内服の抗がん剤等で連日服用するお薬に関しては、最終内服日から2日間下記の対策をお取りください。
- 下記の抗がん剤を投与されている場合は7日間対策をお取りください。
ファルモルピシン、シスプラチン、ゲムシタビン、タキソテール、ドキシソルピシン、エンドキサン、オゾンピン、エトポシド、プレオ

日常生活の注意

- ◆ 男性の方も、便座にこしかけて排尿してください。
- ◆ 尿がこぼれた場合は、トイレトペーパーできれいにふきとってトイレに流してください。
- ◆ 使用後のトイレは、トイレのふたをして水を流してください。このとき水を2回流したほうがよいでしょう。
- ◆ 出血した時はトイレトペーパーできれいにふきとりトイレに流してください。
- ◆ トイレの後や血液が手に付いた場合は石鹸で手をよく洗ってください。

排泄物(尿、便)、嘔吐物についての注意

- ◆ ストーマ用品や、オムツなどの処理は手袋を着用して行ってください。二重にしたビニール袋に入れ、密閉して一般ごみとして廃棄してください。その後石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ◆ 排泄物が皮膚についたら、直ちに水道水で十分に洗い流し、さらに石鹸で洗いましょう。
- ◆ 排泄物、嘔吐物の付着部位に異常が現われたらすぐ診察を受けてください。

排泄物、嘔吐物が付着した寝具、衣類等の取り扱い

- ◆ 排泄物、嘔吐物で汚れた洗濯物は直接洗濯機に入れ、通常の洗剤を用いて2度洗濯してください。このとき単独で洗濯し、その他の洗濯物とは分けて洗うようにしてください。

- 汗は通常の量では対策はいりませんが、大量の汗をかいている場合は、上記の対策をお取りいただくほうが良いでしょう。

関西電力病院 外来化学療法室・薬剤部 2011. 7. 13 作成

内服抗がん薬レジメン運用の同意文書、各レジメンの説明書、在宅の曝露対策説明書、お薬手帳に注射用レジメンの貼付(各レジメンの説明書とお薬手帳に注射用レジメンの貼付については、次ページ以降にも添付資料あり)

がん化学療法患者へのレジメン説明書の配布と指導

スケジュールの説明、投薬説明、副作用の説明、家庭での注意点

内服編

ティーエスワン



この冊子は、どのような治療が行われているのかを患者さんに正確に理解していただく目的で作成しています。

また、患者さんに十分な認識・理解を持った上で治療を受けていただくことで、患者さんの視点に立った、安心して質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。



関西電力病院

◎治療スケジュールについて

□にチェック印が付いているほうが、あなたの治療スケジュールです。



原則として、28日間（4週間）毎日続けて服用し、その後、14日間（2週間）お休みします。これを1コースとして繰り返します。



原則として、14日間（2週間）毎日続けて服用し、その後、7日間（1週間）お休みします。これを1コースとして繰り返します。

◎お薬の説明

・ティーエスワンは以下の3つの成分が配合されています。

テガフル：
体内でフルオロウラシルに変換され、がん細胞を攻撃します。
ギメラシル：
フルオロウラシルの分解を抑えて効果を持続させます。
オチラシルカリウム：
下痢などの消化器系の副作用を減らし症状を軽くする働きを持っています。

◎飲み方

- ・担当の医師の指示にしたがって、決められた量を1日2回、朝食後と夕食後にそれぞれ食後30分以内を目安に飲んでください。
- ・空腹時の服用は避けてください。
- ・1日に飲む量は、あなたの身長と体重をもとに、からだの状態を考えて決められます。

◎服薬するときの注意

◆決められた量、服薬時間を守る

自分の判断で飲む量や服薬期間を変更しないでください。

薬の飲む量、服薬期間、休薬期間は、担当の医師があなたの症状から最も適切と判断したものです。自分の判断で変更しないでください。

◆変更する場合

担当の医師があなたの症状や副作用をみながら、飲む量、服薬期間（短くしたり）や休薬期間（長くしたり）を変更することがあります。

◆食後に飲む薬です

- ・ティーエスワンは（いちばん効きやすいように）食後に飲むように決められています。
- ・食事がとれないときは薬を飲んでよいかどうか担当の医師に相談してください。

◆飲み忘れた場合

- ・飲み忘れた場合は、飲み忘れた分をとばして（服用せず）、次の分からお飲みください。
- ・絶対に2回分を一度に飲まないでください。この薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

◆飲んだか、飲まなかった、分からない場合

念のため飲まないようにしてください。

◆まちがえて多く飲んでしまった場合

すぐに担当の医師または薬剤師に連絡してください。

がん化学療法患者へのレジメン説明書の配布と指導

スケジュールの説明、投薬説明、副作用の説明、家庭での注意点

内服編

のことに注意してください

- 1)薬が皮膚に付着すると、腫れたり赤くなったりすることがあります。注射中はトイレ以外は安静にしてください。
- 2)注射部位が痛んだり腫れたりきた場合、また熱感やかゆみなどの不快感を感じた場合は、主治医又は看護師にすぐに伝えてください。
- 3)点滴注射中あるいは点滴注射直後に、体調が悪くなった、すぐに主治医又は看護師に申し出てください。
- 4)舌のぼり、赤み、じんましん、かゆみ、息苦しいなどの症状を感じた場合はすぐに主治医又は看護師に申し出てください。



◎予想される副作用

使用されたお薬が腫瘍細胞に作用する一方で、一部の正常な細胞も壊してしまうことがあり、これにより副作用が現れることがあります。すべての人に副作用が出るわけではありません。患者様の状態などによっても個人差があります。今回の治療により次のような副作用が現れることがあります(主に自覚症状を感じるものを抜粋してあります)また、これ以外の副作用が起こる可能性もありますので、いつもと違う症状が出た場合は医療スタッフにご相談ください。

◎発現時期の目安(色の濃くなっている期間がおこりやすい時期です)

副作用と発現時期	当日～1週目	1週～2週目	2週～3週目	3週目以降
白血球減少				
赤血球減少				
血小板減少				
食欲不振・吐き気・嘔吐				
発疹				
色素沈着				
下痢				
口内炎				

◎副作用の詳細

○起こりやすい副作用について

* 目安として100人中20人以上に起こる可能性のあるものです

●白血球減少

白血球数には、病原体から体を守り感染症を防ぐ重要な働きがあります。このため、白血球が減少すると、病原体に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。一般的には抗がん剤治療開始後1～2週目に最も少なくなります。したがってこの時期は特に感染予防が重要です。

<以下のような症状があらわれた場合は医療スタッフまで相談してください。>
38度以上の発熱、さむけ、のどの痛み、排尿時の痛み、頭痛、咳、痰など

<日常生活の注意>

こまめに手を洗うことが感染予防には最も重要です
特に食事の前とトイレの前と後、および外出から戻った後は手洗いをお願いします

また、食事の前、起床時、外出から戻った後などはうがいをお願いします
うがい薬が処方されている場合は医師の指示通りにうがいを行ってください。
人ごみの中には風邪をひいている人などがいる可能性もあるので、不特定多数の人が集まる所に出かける際は感染予防に注意しましょう

●赤血球減少(貧血)

赤血球の数が少なくなると、だるさや疲れやすさ、めまいなどの貧血症状を感じることがあります。そのような症状を感じた時は、無理をせず、安静を保ちましょう。

●食欲不振・吐き気・嘔吐

抗がん剤の治療中から起こることがあり、1週間ほど続く場合があります。症状と時期に合わせて、吐き気止めのお薬を使い対応していきます。
吐き気がつよいとき、嘔吐しているときは無理をして食べる必要はありません
食べられるもの、食べたい物を食べられる時に食べましょう

●疲労感・倦怠感

全身がだるくなったり、力の抜けたような感じになることがあります。
発現するかどうかは個人差が大きく関係してきます。
病期の種類・進行度・抗がん剤の種類によっても異なりますが、一般的に投与3～4日後に出現してくるといわれ、7～10日くらいで徐々に軽減します。

<対策>

すべてが取り除かれるわけではありませんが、不安からくる精神的なものであれば医療スタッフに話すことで楽になる場合や薬剤が有効な場合などさまざまです。
できる限り治療が楽にできるよう一緒に考えていきますので、まずは医療スタッフに症状を伝えてください

●下痢・軟便

下痢・軟便になることがあります。

<以下のような症状があらわれた場合は医療スタッフまで相談してください。>

- 飲みはじめて数日以内に口内炎と同時に下痢になった場合
- 1日4回以上の排便回数が増加
- 下痢が長く続く
- 激しい下痢
- 夜中の下痢

<下痢がおきた場合は以下の対策をとってください。>

食物繊維や脂肪分の多い食べ物、牛乳・乳製品はさけるようにしてください。
また香辛料を多く使った食べ物、炭酸飲料などの刺激物をさけるようにしてください。
脱水症状を防ぐためにこまめに水分補給を行ってください。
スポーツ飲料などで電解質を補給するようにしてください。

●口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状がでることがあります。

<以下のような症状があらわれた場合は医療スタッフまで相談してください。>

- 飲みはじめて数日以内に下痢と同時に口内炎が現れる
- 広い範囲に口内炎が現れ、痛みをともなう
- 口内炎がなおりにくく、生活に支障を感じる

<口内炎を予防するために以下のように気を付けてください。>

- 痛みがきついたら早めに口の中を清潔に保つ(歯ブラシは小さめで、やわらかいものを使う)
- うがいや水分補給をこまめに行い、口の中を乾燥させない
- たばこをひかえる
- 痛みが強い時は申し出てください。口内炎ができてしまったら、食べ物や飲み物は熱い・辛い・すっぱいなどの刺激の強いものはさけるようにしてください。

○その他の副作用について

●血小板減少

●発疹

●色素沈着

●間質性肺炎

頻度はごく少ないものの、特に注意すべき症状として、間質性肺炎がおこることがあります。
この場合は、早期に発見し、すぐに治療を開始することが重要となりますので、息切れや呼吸がしにくかったり、咳や発熱があった場合にはすぐに主治医に知らせてください。

●主に検査で確認する副作用

副作用には、自分でわかるものと、自覚症状が比較的起きにくく検査でわかる副作用があります。下記の副作用は主に検査で確認していきます。

肝機能低下、腎機能低下

●目の症状

涙がでたり(涙液)、目の充血、目が痛い、物が見えにくい、目がかすむ、目がかわく、結膜炎、角膜炎、涙が流れる管がつまる(涙道閉塞)などの症状が現れることがあります。
眼の症状が気になる場合は医療スタッフに相談してください。

○注意が必要な副作用について

非常にまれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談ください

- 呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸の痛み、みぞおちや腹部が締め付けられる、圧迫される感じ、冷汗(心臓病)
- 突然起こる激しい腹痛、背部痛、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振(消化器症状)
- 全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(肝臓病)
- 尿の量が減る、手足・顔のむくみ(腎臓病)
- 中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜炎(皮膚臓器)

がん化学療法患者へのレジメン説明書の配布と指導

スケジュールの説明、投薬説明、副作用の説明、家庭での注意点

内服編

- 黄疸(皮膚や巩膜などが黄色くなる)、歯ぐきの出血などの出血傾向(DIC:播種性血管内凝固症候群)
- けいけん発作、頭痛、精神状態変化、視覚異常(白質脳症候群)
- 筋肉が痛む、手足に力がはいる、全身がだるい、尿の色が赤褐色になる(横紋筋融解症)
- 匂いが感じなくなる(嗅覚障害)

(参考)副作用チェックシート

①下痢はありますか → YES → 一日何回くらいですか 4回以上 or YES
→ NO → 夜間にもいけますか
→ NO or 3回以下 → 経通観察 → 病院に連絡

②発疹はありますか → YES → 全身に赤みを伴いますか → YES → 病院に連絡
→ NO → 経通観察 → 病院に連絡

③38℃以上の熱はありますか → YES → 病院に連絡
→ NO → 経通観察 → 病院に連絡

④食事取れていますか、500cc以上の水飲めていますか → NO → 経通観察 → 病院に連絡



あなたのお名前

がん化学療法患者へのレジメン説明書の配布と指導

スケジュールの説明、投薬説明、副作用の説明、家庭での注意点

注射編

ゲムシタビン・カルボプラチン療法



この冊子は、どのような治療が行われているのかを、患者さまに正しく理解していただく目的で、作成しています。

また、患者さまに、十分な認識・理解を持った上で治療を受けていただくことで、患者さまの視点に立った、安心で質の高い医療を提供する体制の構築を目指しています。



関西電力病院

◎治療スケジュールについて

注射薬	1日目	2日目	3日目	8日目	9～21日目
ゲムシタビン (一般名:ゲムシタビン)	●			●	お休み
カルボプラチン (一般名:カルボプラチン)	●				
内服薬					
デカドロン錠		●	●	●	

* 上記の表の21日を1コースの治療として繰り返し行います。

経過や予定に合わせてお休みの期間は変わります。

◎お薬の説明

お薬の名前	お薬の使用目的	お薬の働き方
グラニセトロン	吐き気止め	他のお薬によって起こる吐き気や嘔吐を和らげます。
デキサート デカドロン	吐き気止め・アレルギー予防	他のお薬によって起こる吐き気や嘔吐、過敏症を和らげます。
ゲムシタビン カルボプラチン	治療のための薬	がん細胞の分裂を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。

◎注射のメニュー

* 標準的なものを示してあります。
患者様によっては一部変更される場合があります。投与時間は目安です。
()はその点滴に混ぜてあるお薬です。

(1日目)

順番	点滴の形	お薬の名前	点滴時間
①		グラニセトロンパック (デキサート)	5分
②		生食 100ml (ゲムシタビン)	30分
③		ブドウ糖 250ml (カルボプラチン)	1時間
④		生食 50ml	5分

(8日目)

順番	点滴の形	お薬の名前	点滴時間
①		生食 100ml (デキサート)	5分
②		生食 100ml (ゲムシタビン)	30分
③		生食 50ml	5分

◎点滴中は以下のことに注意してください

- 1) 薬が皮膚に付着すると、腫れたり赤くなったりすることがあります。注射中はトイレ以外安静にしてください。
- 2) 注射部位が痛んだり腫れてきた場合、また熱感やかゆみなどの不快感を感じた場合は、主治医又は看護師にすぐに伝えてください。
- 3) 点滴注射中あるいは点滴注射直後に、体調が悪くなった、すぐに主治医又は看護師に申し出てください。
- 4) 顔のほてり、赤み、じんましん、かゆみ、息苦しいなどの症状を感じた場合はすぐに主治医又は看護師に申し出てください。



◎副作用について

使用されたお薬が腫瘍細胞に作用する一方で、一部の正常な細胞も壊してしまうことがあり、これにより副作用が現れることがあります。すべての人に副作用が出るとは限らず、患者様の状態などによっても個人差があります。今回の治療により次のような副作用が現れることがあります(主に自覚症状を感じるものを抜粋してあります)
また、これ以外の副作用が起こる可能性もありますので、いつもと違う症状が出た場合は医療スタッフにご相談ください。

◎発現しやすい時期の目安(色が濃くなっている期間が起こりやすい時期です)

副作用と発現時期	当日～1日目	1週～2日目	2週～3日目	3週間以降
白血球減少				
食欲不振・吐き気・嘔吐				
疲労感・倦怠感				
脱毛				

がん化学療法患者へのレジメン説明書の配布と指導

スケジュールの説明、投薬説明、副作用の説明、家庭での注意点

注射編

副作用と対策について

○血液の副作用

●白血球減少

白血球数には、病原体から体を守り感染症を防ぐ重要な働きがあります。このため、白血球が減少すると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症をため、白血球が減少すると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。一般的には抗がん剤治療開始後1～2週目に最も少なくなります。したがってこの時期は特に感染予防が重要です。

<以下のような症状があらわれた場合は医療スタッフまで相談してください。>

37.5度以上の発熱、さむけ、のどの痛み、排尿時の痛み、頭痛、咳、痰など

<日常生活の注意>

こまめに手を洗うことが感染予防には最も重要です

特に食事の前とトイレの前と後、および外出から戻った後はいぬいに洗いましう

また、食事の前、起床時、外出から戻った後などはうがいしましょう

うがい薬が処方されている場合は医師の指示通りにうがいを行ってください。

人ごみの中には風邪をひいている人などいる可能性もあるので、不特定多数の人が集まる所に出かける際は感染予防に注意しましょう

●赤血球減少(貧血)

赤血球の数が少なくなると、だるさや疲れやすさ、めまいなどの貧血症状を感じることがあります。そのような症状を感じた時は、無理をせず、安静を保ちましょう。

●血小板減少

出血を止める作用がある血小板が少なくなると、内出血、鼻血、歯磨きによる口の中の出血などの症状が起きることがあります。

○胃腸への副作用

●食欲不振・吐き気・嘔吐

抗がん剤の治療中から起こることがあり、1週間ほど続く場合があります。症状と時期に合わせて、吐き気止めのお薬を使い対応していきます。

吐き気がつよいとき、嘔吐しているときは無理をして食べる必要はありません

食べられるもの、食べたい物を食べられる時に食べましょう

○からだへの副作用

●疲労感・倦怠感

全身がだるくなったり、力の抜けたような感じになることがあります。

発現するかどうかは個人差が大きく関係してきます。

病期の種類・進行度・抗がん剤の種類によっても異なりますが、一般的に投与3～4日後に出現してくるといわれ、7～10日くらいで徐々に軽減します。

<対策>

すべてが取り除けるわけではありませんが、不安からくる精神的なものであれば医療スタッフに話すことで楽になる場合や薬剤が有効な場合などさまざまです。

できる限り治療が楽にできるよう一緒に考えていきますので、まずは医療スタッフに症状を伝えてください

●脱毛

毛が抜けやすくなる。髪を洗ったときに多量の毛髪が抜けるといったことがあります。個人差はありますが、抗がん剤投与2～3週間後に多く起こり、髪以外の部分(体毛・眉毛・陰毛)でも起こります。髪は、抗がん剤の治療が終われば数ヶ月後には再び生えてきます。

頭皮の清潔を保つために洗髪をしましょう。その時に頭皮を傷つけないよう指の腹を使用して優しく洗いましう。

状況に応じてウィッグなどを使用することも可能です。悩まれるときにはご相談ください。

●発熱

●発疹

お薬を投与して時間がたつと、皮膚に湿疹ができることがあります。予防のために保湿剤を使用することもあります。発疹が出た際には炎症を抑える軟膏で対応することもありますので、症状が出た際には必ず報告をしてください。

●注射部位反応

注射した場所(部位)が痛くなることがあります。この痛みは注射を終了するとなくなります。ただし、注射部位の痛みが続く場合は相談して下さい。

●間質性肺炎

頻度はごく少ないものの、特に注意すべき症状として、間質性肺炎がおこることがあります。

この場合は、早期に発見し、すぐに治療を開始することが重要となりますので、息切れや呼吸がしにくかったり、咳や発熱があった場合にはすぐに主治医に知らせてください。

●主に検査で確認する副作用

副作用には、自分でわかるものと、自覚症状が比較的起きにくく検査でわかる副作用があります。下記の副作用は主に検査で確認していきます。

肝機能低下、腎機能低下

◎注意が必要な副作用について

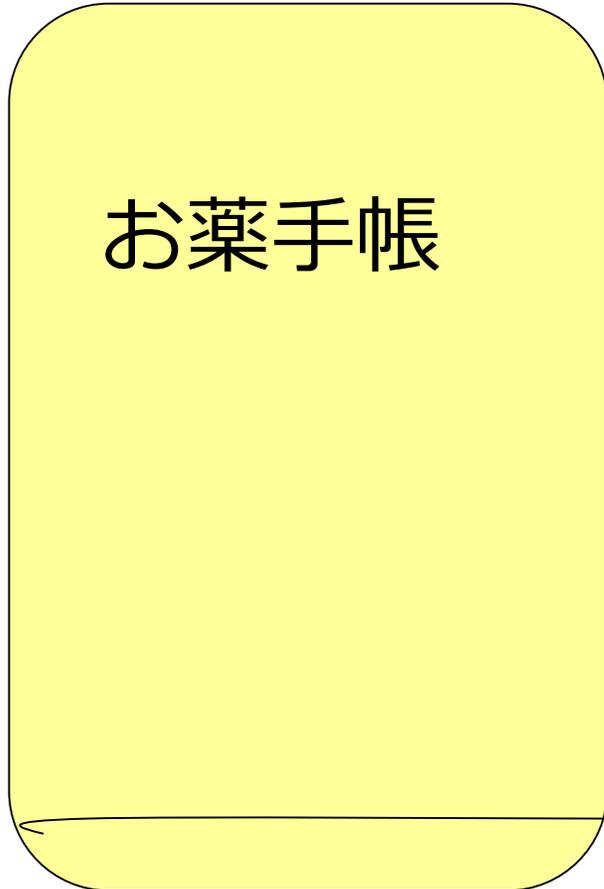
非常にまれな副作用ですが、このような症状が現れたらすぐに医師・薬剤師・看護師へご相談ください

- 呼吸困難、じん麻疹、顔および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈(アナフィラキシー様症状)
- 胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、原量減少、むくみ、痛(肺障害)
- 呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸の痛み、みぞおちや腰部が締め付けられる、圧迫される感じ、冷汗(心障害)
- 意識障害、片側の手足のしびれ、相手の言葉が分りにくい、うまくしゃべれない、頭痛(脳障害)
- 突然起こる激しい腹痛、背部痛、むたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振(消化器症状)
- 原の量が減る、手足・顔のむくみ(腎障害)



あなたのお名前

注射用抗がん薬の場合は、 レジメン患者用説明とお薬手帳への注射薬処方内容を貼付



大腸 Pmab/FOLFOX ← 調剤日 20 / /

患者氏名 処方医師 医師氏名

デキサメタゾン錠4mg
分2 (朝、昼) 食後 ※ケモ2日目、3日目に服用 2日分 朝1錠 昼1錠

ゲラニトロン点滴静注パック 1mg/50mL 「デバ」
CV埋込

デキサート注射液6.6mg (2mL)
CV埋込 1.5瓶

パルチナ点滴静注用
CV埋込 400mg

フルオロウラシル注
CV埋込 3800mg

エルプラット点滴静注液
CV埋込 130mg

ペクティビックス点滴静注100mg (5mL)
CV埋込 360mg

関西電力病院
〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1-7 TEL: 06-6458-5821

〈副作用〉
口内炎 grade 1
~~ざそう様皮疹 grade 1~~
末梢神経障害 grade 1
好中球減少 grade 1 (1300)

部位 レジメン名
ホームページから「部位とレジメン内容」
が確認できると考えます。
各レジメンの説明書もあるので確認し
てください。

お薬手帳に注射用抗がん薬の
処方内容を貼付
確認した副作用の状態も記載

高度・中等度催吐性リスクのある注射
用抗がん剤には、ステロイド、アプレピタ
ント、オランザピンなども記載しています。

前回からの副作用が
認められなくなった
場合は赤線で削除

院外処方の内服抗がん薬の場合は、次ページからの運用

内服抗がん剤のみの場合 薬薬連携の仕組み

2013年5月にオーダーリングシステムから完全電子カルテ化



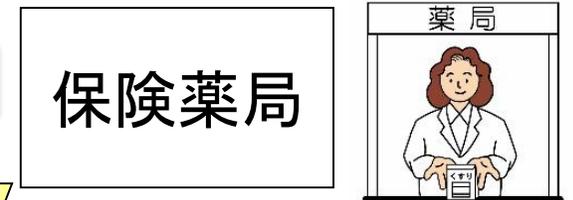
Rp01 エワンタイウ配合OD錠T20 120mg
分2 (朝夕)食後 14日分

【調剤薬局様】計画書あり疑義照会下さい

処方せんの抗がん剤名にコメント記載あり



投薬指導
鑑査



告知・病名
休薬期間

用量計算の
根拠

各診察室で発行される内服抗がん薬の院外処方せん

(科名： 呼吸器内科) No. 院外処方せん
 (この処方せんはどの保険適用でも有効です。)

公費負担者番号	保険者番号
公費負担制度の 支 給 者 番号	被保険者氏名・被保険 者手続の記号・番号

患者ID 生年月日 昭和 14年 月 日
 年齢 4歳 月 性別
 方名 氏名 区分 院

保険医療機関 〒553-0001 大阪市福島区福島2-1-7
 所在地及び名称 関西電力病院
 電話番号 06-6458-5821(代表)
 保険医氏名 1

都道府県 市町村 診療科

処方年月日 平成21年01月28日 処方せんの
使用期限 平成21年04月28日 特記事項のある場合を除き
交付の日を含めて4日以内
に保険薬局に提出すること

変更不可	個々の処方箋について、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更により支えがあると判断した場合 には、「変更不可」欄に「/」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。
処方	NP01 ジオトリプ錠 20mg 20mg 42日分 ★分1 錠1錠 ★※【調剤薬局様】計画書あり。従量減価 下さい ★※投与量に応じて薬剤規格調剤(従量 剤剤) ★ 1月28日から 以下余白
備考	保険医署名 高一 (変更不可)欄に「/」又は「×」を記載した 場合は、署名又は記名・押印すること。 保険薬局が調剤時に経費を確認した場合の対応(特記事項がある場合は「/」又は「×」を記載すること。) ①保険医氏名欄へ従量減価した上で調剤 ②保険医氏名欄へ従量減価

調剤済年月日 公費負担者番号
 調剤済年月日 公費負担者番号

院外処方せんについて患者様へ

- 院外処方せんのお名前とお薬の内容を確認して下さい。
- 院外処方せんの有効期限は4日以内です。(土・日曜日、祝日も含む)。
院外処方せんをもらわれたらすぐに保険薬局にてお薬をもらって下さい。
- 後発医薬品への変更も可能です。薬剤師に相談して下さい。
- 全国どこでもこの保険薬局でも利用できます。
ただし「かかりつけ薬局」を決めておかれると安心です。

保険薬局薬剤師の方へ

- こちらの文書は確認次第取りとり、患者様へお渡しください(個人情報より)。
直近6ヶ月間の臨床検査数値を記載しています。調剤する際に有効利用して下さい。

白血球 39 (01/25)	AST 10.8 (01/25)	血小板 23.7 (01/25)
PT-INR 0.95 (01/25)	肝中値数 24.7 (01/25)	AST(ALT) 39 (01/25)
ALP(PT) 19 (01/25)	ALP 265 (01/25)	Cr(肌) 0.45 (01/25)
尿酸値 11.3 (01/25)	Cr(血) 0.39 (01/25)	総コレステロール 207 (01/25)
BUN 4.0 (01/25)	Cr(尿) 0.57 (01/25)	Cr(左) 0.45 (01/25)
Na/Cr(NGSP値) 3.4 (01/25)		

- 投薬指導した内容をお薬手帳に記載して下さい。
例) シックデイの指導をしました。
歯周病の重要性を指導しました。
など、記載後に捺印をお願いします。
 - 検査・手術を受ける患者様もおられます。
指導中に確認が取れた場合は、検査日・手術日を確認後は薬によって中止指示の
確認をお願いします。
例) 造影剤の場合 メトホルミン製剤(メトグルコ錠・メトホルミン塩酸塩錠)
手術の場合 抗凝固薬や抗血小板薬などの服用指示
- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ワーファリン錠 | <input type="checkbox"/> バイアスピリン錠 | <input type="checkbox"/> エバゲール顆粒 |
| <input type="checkbox"/> イダザレト錠 | <input type="checkbox"/> リクシアナ錠 | <input type="checkbox"/> エリキュース錠 |
| <input type="checkbox"/> プラザキサCap | <input type="checkbox"/> ブラビックス錠 | <input type="checkbox"/> プレタール錠 |
| <input type="checkbox"/> コンプラミン配合錠 | <input type="checkbox"/> ケルゲル配合錠 | |
- 注意事項) 再び上記の薬剤を服用するタイミングの指示は、主治医にご確認ください。

●製薬会社は、口頭では医療事故に繋がる可能性があります。FAXして下さい。
 調剤に関する問い合わせはFAXにてお願いします：薬剤部 FAX06-7601-1404
 保険に関する問い合わせ：医事課 FAX06-6458-6894 TEL06-6458-5821 (代表)



抗がん剤投与計画書

患者ID 2

氏名 テスト関電

性別	生年月日	年齢
男	1975/11/10	37 歳

身長	体重	体表面積	血清Cre(mg/dl)	Ccr	本人への告知
153	65	1.55	0.7	132.8	済
レジメン適応病名					
胃がん					

患者適応レジメン(投与量は当院標準です。実際の投与量は処方箋を確認下さい)

レジメン名	1クールの日数	レジメン初回開始日
ALLグリベック	連日	2013/08/05

薬品名	投与量	投与日
グリベック	イマチニブとして1日1回600mgを食後15分経口投与。なお、血液所見、年齢・症状により適宜減量。	連日

今回の処方内容(連日投与レジメンはクール開始日~終了日=服薬日です)

今クール開始日	終了予定日	本日処方の服用日	前回の残薬
2013/07/28	2013/07/31	6/1~6/14 6/15~6/28	0

過去投与歴(過去4クールまで表示)

クール開始日	終了日	レジメン
2013/07/28	2013/07/31	6/1~6/14 6/15~6/28 CMLタシグナ
2013/07/07	2013/07/28	あああ 胃XP/トラスツズマブ
2013/06/12	2013/06/26	6/12夕~6/20朝 非小細胞肺-レルサ
		非小細胞肺タルセバ

備考・疑義照会記録

備考・疑義照会内容	確認日	確認元
テオ3	2013/07/26	Dr
テオ2	2013/06/07	Dr
テオ	2013/05/30	カルテ

薬剤師確認印

関西
華子

電力
太郎

検査値確認印

検査値確認済み

抗がん剤投与計画書はここまでです。患者様の服薬指導よろしくお願ひします

ここからは薬局様返信用です。必須ではありませんがご協力をお願いします

ID・氏名

2
テスト関電

保険薬局様へ

関西電力病院の抗がん剤薬連携にご協力いただきありがとうございます。
薬薬連携をより有効なものにするため、今回の指導内容を当院薬剤部までFaxしていただけたら幸いです。
Fax番号 06-7501-1404

指導内容

- コンプライアンス・残薬の確認
- 服用期間の説明
- 休薬期間の確認
- 併用禁忌薬品の確認
- 副作用の確認
- その他(特記事項等あればご記入ください)

抗がん剤投与計画書印刷日 2013/08/19

抗がん剤投与計画書

患者ID 2
 氏名 テスト関電
 性別 男 生年月日 1975/11/10 年齢 37 歳

身長	体重	体表面積	血清Cre(mg/dl)	Ccr	本人への告知
153	65	1.55	0.7	132.8	済
レジメン適応病名 胃がん					

「身長・体重・体表面積・血清Cre・Ccr・本人への告知」を入力

患者適応レジメン(投与量は当院標準です。実際の投与量は処方箋を確認ください)

レジメン名 ALLグリベック	1クールの日数 連日	レジメン初回開始日 2013/08/05
薬品名	投与量	投与日
グリベック	イマチニブとして1日1回600mgを食後15分経口投与。なお、血液所見、年齢・症状により適宜減量。	連日

病院で登録されているレジメンの標準スケジュール

今回の処方内容(連日投与レジメンはクール開始日~終了日=服薬日です)

今クール開始日	終了予定日	本日処方の服用日	前回の残薬
2013/07/28	2013/07/31	6/1~6/14 6/15~6/28	0

「今クールの開始日・終了日の処方服用日数と残数」を入力

過去投与歴(過去4クールまで表示)

クール開始日	終了日	レジメン
2013/07/28	2013/07/31	6/1~6/14 6/15~6/28 CMLタシグナ
2013/07/07	2013/07/28	あああ 胃XP/トラスツズマブ
2013/06/12	2013/06/26	6/12夕~6/20朝 非小細胞肺-レッサ
		非小細胞肺タルセバ

「過去投与歴」を入力(過去4クールまで)

「投与量の変更があった場合、投与量
や変更理由」を入力(過去4クールまで)

備考・疑義照会記録

備考・疑義照会内容

確認日 確認元

備考・疑義照会内容	確認日	確認元
テオ3	2013/07/26	Dr
テオ2	2013/06/07	Dr
テオ	2013/05/30	カルテ

薬剤師確認印

関西
華子

電力
太郎

検査値確認印

検査値確認済み

抗がん剤投与計画書はここまでです。患者様の服薬指導よろしくお願いします

ここからは薬局様返信用です。必須ではありませんがご協力をお願いします

ここからがトレーシングレポートとなります
チェック項目(横に現状記載可能)

その他にも患者に関することを記載してください
関西電力病院 薬剤部までFAX下さい
薬剤師により、電子カルテに入力します。

ID・氏名

2

テスト関電

保険薬局様へ

関西電力病院の抗がん剤薬連携にご協力いただきありがとうございます。

薬薬連携をより有効なものにするため、今回の指導内容を当院薬剤部までFaxしていただけたら幸いです。

Fax番号 06-7501-1404

指導内容

- コンプライアンス・残薬の確認
- 服用期間の説明
- 休薬期間の確認
- 併用禁忌薬品の確認
- 副作用の確認
- その他(特記事項等あればご記入ください)

抗がん剤投与計画書印刷日 2013/08/19

関西電力病院

?

ページ

おわりに

- 在宅での抗がん薬管理は安全性（副作用）を考慮するようにしましょう。
- 在宅での、内服薬抗がん薬の投与量、服用方法、副作用の確認も継続的にお願いします。
- また、重篤な副作用などを直ぐに確認した場合は、病院にお知らせください。
- 患者の病態や投薬に関するトレーシングレポートは決められた形はないです。連絡紙としてでも内容を重視していますのでFAXで受け付けます。
- 地域連携充実により、患者様の抗がん薬治療の安全を心掛けましょう。